

5 ワークショップ

5-E D-proBooks 制作

前田 康裕(熊本大学)

小林 祐紀(茨城大学)

1 ワークショップのねらい

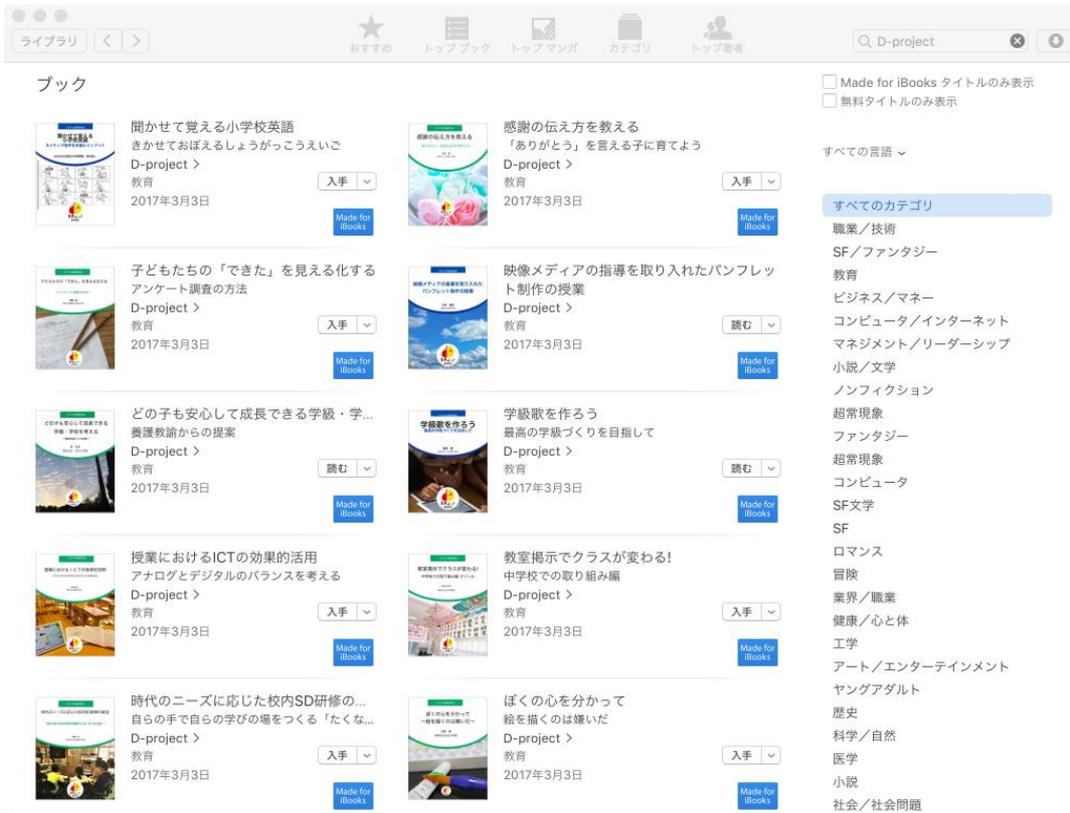
このワークショップでは、iBooks Author の基本的な機能や操作方法を習得し、研修後に参加者自身の教育実践や児童生徒向けの教材について、D-proBooks としてまとめられることをねらいとする。



2 ワークショップの流れ

- 13:45 ワークショップの概要説明
講師紹介・参加者自己紹介
ワークショップの目指すところ
(最終ゴールのイメージの共有)
本日の流れの説明
- 14:00 デジタルブックの魅力
既刊されている D-proBooks を読み解く
テーマ設定
読み手を意識した構成
デジタルだからこそできる機能等
- 14:20 iBooks Author の魅力 (何ができるのか)
iBooks Author の基本的な機能
テンプレート・ウィジェット
iBooks Author の基本的な操作
- 14:40 D-proBooks の制作
参加者各自のテーマで取り組む
適宜, 内容や機能等の情報共有
- 15:20 本日のまとめと今後のスケジュール
各自のテーマ, 内容等の情報共有
D-proBooks 完成予定時期の確認

3 D-proBooks のサンプル（執筆時点で 10 作品）



4 デジタルブックのメリット

以下のようなメリットが考えられる。

- 動画、音楽を扱うことができる
- 写真を複数枚同じ場所に配置することができる
- レイアウト等、あまり難しいことを考えずに手軽に始められ、完成度が高い
- 修正や更新が非常に簡単に行える
- どのようなデバイスでも見る（読む）ことができる。
- オープンにすることで内容に対する反響をえることができる・・・等

5 D-proBooks 以外の活用法

以下のような活用法も考えられる。

- 校内の研究紀要の代わりに
- 研究グループや研究会の報告書代わりに
- 子どもたち、学生のレポートとして
- オリジナルテキストとして